

平成28年度  
一般会計補正

# 豪雪対応予算を大幅増額 町道除排雪費は2億9000万円に



夜を徹して行われた除雪作業

平成29年第1回議会定例会は、3月1日から21日までの21日間にわたって開催されました。  
町側から自動車事故に係る和解及び損害賠償の決定などの専決処分の報告5件、28年度一般会計補正予算(第4号)の専決処分の承認、28年度一般会計補正予算(第5号)のほか各特別会計・事業会計の補正予算5件、条例の制定1件、条例の一部改正5件、29年度8会計の予算が提案されました。

28年度6会計の補正予算は、すべて全会一致で原案どおり可決しました。  
一般会計は、歳入歳出に

## 平成28年度 一般会計補正予算(第5号)

7321万円を追加し、総額は69億7982万円になりました。

### 〈歳入の主なもの〉

- 国庫支出金
- 地方創生拠点整備交付金 587万円
- 自然環境整備交付金 1000万円
- 繰入金
- 財政調整基金繰入金 5476万円

主な補正は豪雪に対応して、除雪支援員派遣に560万円を増額、町道除雪費

## 平成28年度 一般会計補正予算(第4号)

を5000万円増額するものです。

### 〈歳出の主なもの〉

- 移住体験住宅 1085万円
- 国立公園整備 2010万円
- 町道除排雪 1億円
- 国庫支出金の地方創生拠点整備交付金(事業費の1/2)を活用した移住体験住宅整備は、旧北小学校校長住宅を改修して行われます。同じく自然環境整備交付金(事業費の1/2)は、志賀高原の国立公園内遊歩道整備などに活用されます。
- 町道除排雪費には1億円を追加し、総額は2億9000万円となりました。豪雪の今期を反映して、過去最高額だった27年度の3億4000万円を今後超える可能性もあります。



1085万円をかけ体験住宅に改修される校長住宅

## 北小学校校長住宅を 移住体験住宅に改修

# 議会だより

YAMANOUCHI TOWN COUNCIL

第108号  
平成29年4月25日(2017)  
発行 山ノ内町議会  
責任者 議長 小淵 茂昭  
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡  
山ノ内町大字平穩3352-1  
☎0269-33-1101 (有)2020  
E-mail  
gikai@town.yamanouchi.nagano.jp

議会ホームページと  
議会フェイスブックは  
町ホームページからアクセス



### もくじ

3月定例会関連記事……………24

議会住民アンケート結果……………26

一般質問……………27

みなさんからの請願・陳情……………27

議会全員協議会・議会の活性化……………38

予算審査……………39

議会報告会……………40

みんなのひろば・編集後記……………43

体育施設設置・管理条例一部改正

北小体育館・グラウンドを社会体育施設に

条例の制定・一部改正6件については、個人情報保護条例の一部改正は賛成多数、ほか5件は全会一致で原案どおり可決しました。

町立学校施設使用に関する条例及び町体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

北小学校閉校にともない、体育館とグラウンドを学校施設から社会体育施設に移行し、その使用料を定めるも



「すがかわ体育館」として社会体育施設となる北小体育館

マイナンバー独自利用開始に向け  
個人情報保護条例を改正

職員の勤務時間及び休暇等に関する条例及び一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告、国の法令改正により、介護休暇の分割化、1日2時間の介護時間が増設されることを受けての改正です。

番号法の段階施行に対応して、一部未施行だった個人情報保護条例の「情報提供等記録」の用語定義、第2条1項(6)を部分改正して施行し、法定事務に係る情報連携に加えて、条例事務関係情報連携を情報提供等記録の定義に加えることと、番号法第26条追加による条ずれを直すため、17条の2の「利用停止請求権等」の一部を改正しようとするものです。

個人情報保護条例の一部改正

反対討論

渡辺 正男

マイナンバー制度の運用予定に沿って順次必要な法令対応をしていくための条例改正。自分の情報の扱いを確認できる個人向けサイト「マイナポータル」の運用も想定している。マイナンバーは、徴税強化と社会保障費抑制、国民監視の手段にしたい国・財界の都合で導入されたもの。国民に弊害ばかりもたらすマイナンバーは中止し、廃止へ向け見直す必要がある。

条例等の一部改正

消費税10%への増税2年半見送りによる必要な改正と、施行期日及び経過措置を規定するものです。

地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定

地方再生法による、企業の地方への本社機能移転を促進するための条例制定です。移転後3年間にわたり固定資産税を減額できることになり、その財源は交付税で75%が措置されます。

介護保険条例の一部改正

消費税増税先送りにともない、その財源で賄うことになっていた低所得者の介護保険料段階的減減措置を、28年度と同様にして継続するものです。

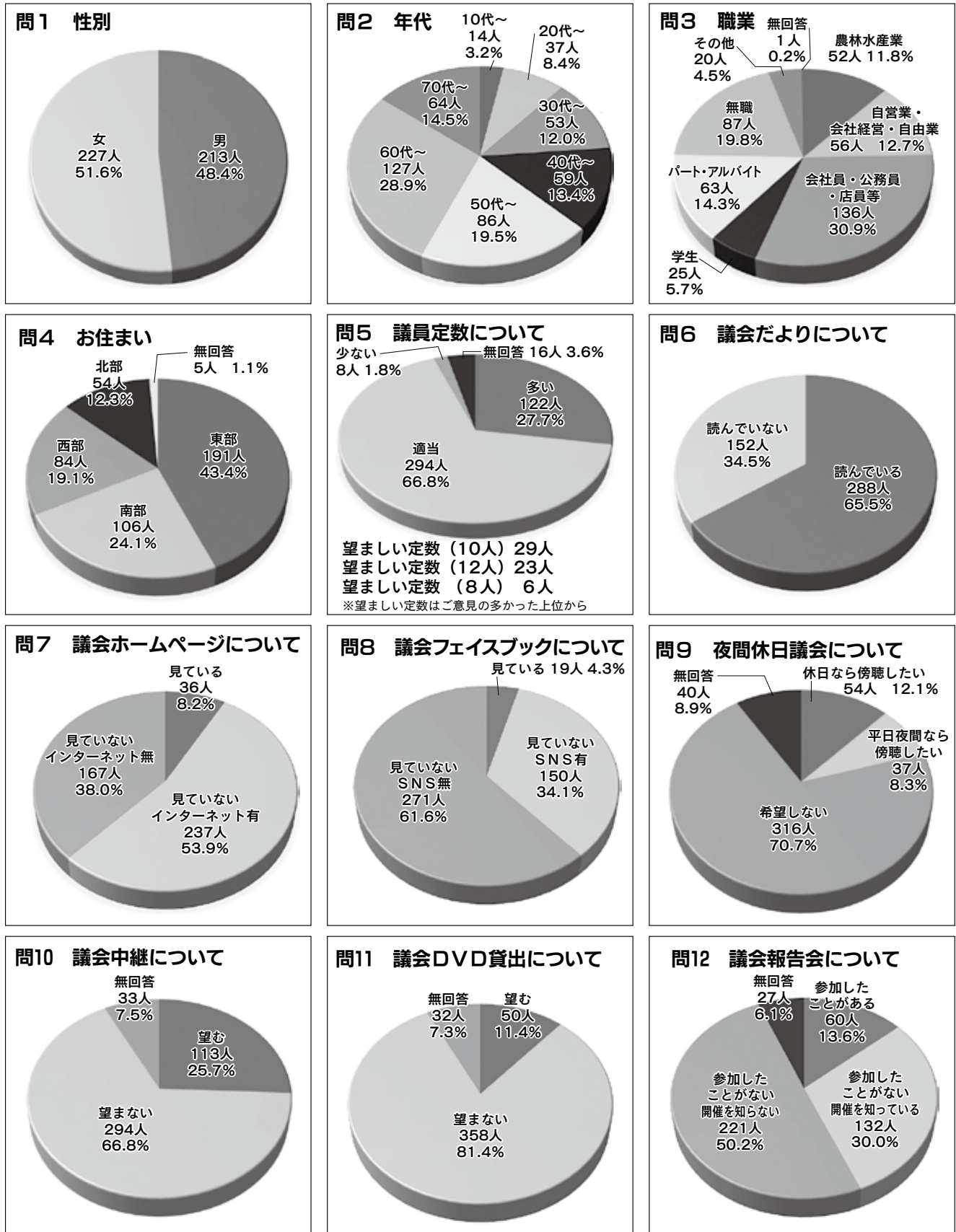
## 議会住民アンケートにご協力ありがとうございました。



町スポーツ推進計画アンケートにあわせ、実施しました「議会住民アンケート」にご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

このアンケートは住民約1万3000人の中から無作為に抽出された1000人の方を対象に実施され、440人の方から回答をいただきました。貴重なご意見もあり感謝申し上げます。

アンケート結果は下記の表のようになりますが、これを今後の議会活動の参考にさせていただきます。



# ズバリここが知りたい

**論戦** 観光・農業・防災・豪雪対策・地域交通・環境美化など

一般質問は、3月3日、6日、7日の3日間にわたり行われました。

一般質問とは、住民から重大な期待と関心を持たれる大事な議員活動です。議員がその市町村の行政全般にわたって、執行機関の疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。議員主導による政策議論であることから、執行機関も十分な準備が必要となるため事前通告を行います。

質問者1人の質問時間は25分です。（答弁を含めて概ね1時間）。

今議会の登壇議員は10人、傍聴者は38人でした。（大勢の傍聴をお待ちしています。）

順番	質問者	質問項目
①	 布施谷 裕泉	1. 教育環境の充実に向けて 2. 「信州型自然保育」の取り組みについて 3. 小さな拠点づくり事業の取り組みについて 4. 移住・定住推進事業の進捗について
②	 児玉 信治	1. 夜間瀬川河床整備について 2. 農政について 3. 人口減対策について 4. 観光商工会館について
③	 高田 佳久	1. 平成29年度当初予算は住民の福祉の増進となる編成を 2. 持続可能な地域公共交通の構築を 3. 地域で支え合う福祉のまちづくりを 4. 消防設備における整備方針の明確化と設備の強化を 5. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進を 6. 観光戦略の推進を
④	 高山 祐一	1. 安心安全な生活について 2. 豪雪に対しての危機管理について 3. 食品ロス削減の推進について
⑤	 望月 貞明	1. 子育て支援について 2. 防災対策について 3. 移住定住促進について 4. 水道行政について
⑥	 湯本 晴彦	1. 地方分権時代における町政のあり方について 2. 町の財政について 3. まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗について
⑦	 西 宗亮	1. 観光振興施策について 2. 地域公共交通施策について 3. 町道湯田中夜間瀬線の歩道整備について
⑧	 渡辺 正男	1. 介護保険特別会計の現状について 2. 国民健康保険特別会計の現状について 3. 小学校の今後のあり方について 4. 子育て支援策の充実について
⑨	 徳竹 栄子	1. 子育て支援について 2. 交通弱者の公共交通対策について 3. 北小学校の空き施設の利活用について
⑩	 山本 良一	1. 1月豪雪時の対応について 2. 北小学校について 3. ロマン美術館について

# 地域の拠点とするための構想は

## 町長—公民館を中心とした公共施設の集約

**町長** 北小体育館とグラウンドは社会体育施設、校舎は公民館を中心とした公共施設の集約化を検討。地域住民交流の拠点となる内容にしたい。

**質問** 実施計画に組み込まれている事業費の根拠は。

**総務課長** 一部屋当たり200万円の改修費で10部屋分、単年度概算で2000万円としたもの。

**質問** 公民館機能移転では課題となるのが大広間。二部屋をひとつにして人数だけは入っても、柱で前が見えないようでは困る。しつ

かり考慮頂きたい。

**総務課長** 場所については、ある程度考えているが、基本設計の中で細かく検討していきたい。

### ※1 当町でも「信州型自然保育」の取り組みを

**質問** 県が進める「信州型自然保育」の理念と目的は。

**健康福祉課長** 自然保育を積極的に取り入れることにより、自然の恵みに対する感謝の気持ちの醸成や、自ら学び成長しようとする力を育むことと理解している。

**質問** 町として取り組みを。

**健康福祉課長** 基準をクリアできないということもあり、現段階では現場とも協議はしていない。

**質問** 認定基準そのものはそれほど難しいことではないが、自然保育の理念をどう捉えるかが大事。単に自然豊かな場所での保育と、自然保育の理念の下での保育は意味が違ってくるのでは。

**町長** 保育士や保護者会の意向も踏まえ、子供たちの健やかな成長という観点から対応していきたい。

### 教育環境の充実に向けて

**質問** かねてから教員の多忙化が指摘されているが町の実情は。

**教育長** 学校の実態調査で昨年12月の時間外勤務時間は平均で35時間、小中学校とも県平均より少ない。

**質問** 最近、教職員の不祥事に関するニュースが多い。これは規範意識の低下もあ



北小施設 地域の確かな拠点に

るが、むしろ過重労働からの疲弊やストレスによることが多くとされる。対応は。  
**教育長** 勤務時間を減らすのは現実的に難しい面がある。また教育は信頼関係の上になり立つもの、研修も含め取り組みたい。

**質問** 「通級指導教室」申請結果は。

**教育長** 県内においても特別支援教育が必要な児童・生徒は増加傾向にあり、次年度の申請は認められなかった。



ふせやひろみ 布施谷 裕泉

- ※1 信州型自然保育…屋外での多様な体験活動を基軸とする保育
- ※2 通級指導教室…障がいを持つ児童・生徒が通常学級に在籍しながら、必要に応じ支援を受けられる教室

※1  
今国会では「そんたく付度」の二文字が飛び交う。いい付度と悪い付度があるとか、でも一番付度すべきは地方の疲弊。

布施谷裕泉のつぶやき

# 県の大型草刈り機借用のための予算化を

## 町長一県の仕事は県で



こだま しんじ  
児玉 信治

※1 しゅんせつ…水底の土砂を掘り取り運搬処分する作業

**【質問】** 県（北信建設事務所）で大型草刈り機を導入された。効率運用のため、未使用の間、町で借用し、河床の草刈り整備することは有効である。そのためのおペレーター代として50万円ほどの予算化ができないか。

**【町長】** 夜間瀬川の河床整備や、しゅんせつについては、管理者である北信建設事務所に引きつづき整備が進むように要望していく。

**【質問】** 町の努力も必要であり、観光資源として美化に取り組む姿勢も必要だ。

**【町長】** 県の管理下にあるものは県で管理するのが原則だ。

**【建設水道課長】** 当初予算には入ってはいないので、やるとすれば補正対応だが、根本的には河床整備に関して町の予算はつかないといふこと。



きれいに整備された夜間瀬川河床

### 実務リーダー育成を

**【質問】** 現在の農政は、すべて補助金主義である。人的なリーダーが必要と考えるが対策は。

**【農林課長】** まさに、国・県の施策の中では、補助金はあるが人材育成に関するものについては、見当たらない。

いのが現状である。北信地方事務所、リーダー・農業の担い手育成という部分で北信州農業道場がある。町の若手の農家の皆さんも何名か講座に参加されている。研鑽を重ねていただき、地域のリーダーとして活躍していただきたいと期待している。

### 農振地域除外の緩和策を

**【質問】** 農業振興地域のために、住宅建設ができない状況がある。緩和策はないか。また、人口減対策で若者定住のための住宅建設も必要ではないか。

**【町長】** 人口対策は、町政の最重要課題として取り組んでいる。特に「住」については重要な施策と承知しており、後期基本イノベーション戦略の取り組みを着実に推進していく。

**【農林課長】** 農業振興地域については、優良農地として守っていかねばならない農地、山際で荒廃してきた、あるいは作付けがされないで数年間放置されてい

るものなどある。JA・農業委員会・認定農業者の皆さんと、見直しについて話し合いを進めていきたい。

**老朽化にともなう事故の未然防止対策を**

**【質問】** 観光商工会館の老朽化のための事故が心配されている。対応策は。

**【総務課長】** 建物の劣化が進んでいるため、利用者の安全、また維持管理・改修経費を考慮した場合、取り壊しが最良と思われることから、実施計画に計上している。現在の入居団体の都合も考慮し、必要最小限の修理を、双方協議し実施する方向でいる。

「夜間瀬川をきれいにする会」では、今年も草刈りを計画中、大勢の参加をお願いします。

児玉信治のつぶやき

# 住民福祉の増進となる予算編成を

## 町長―産業・暮らし・子育て充実予算として施策に取り組み

**質問** スピード感をもって

取り組むことを念頭に、当初予算を編成とのことだが、どのあたりにスピード感があるのか。

**総務課長** 国立公園満喫プ

ロジェクトでは町長が直接東京へ出向き要望。産地パワーアップ事業では補助金を獲得。コミュニティバスの実証運行では関係機関と調整し方向性を出すなど。

### 持続可能な

### 地域公共交通の構築を

**町長** 須賀川線を全廃、菅角間線の一部を廃止し、町が運行するコミュニティバスに代替え、当町に適した

交通体系を構築したい。

**質問** 今回の方向性は、どの段階までの協議か。

**副町長** 事務局案として事業者の理解を得た上で方向性を示したものの、29年度の早い時期に地域公共交通会議を開催し、10月に新システムに移行したい。

**地域で支え合う福祉のまちづくりを**

**質問** 町内では特殊事情を持つ高齢者等の住居があり、現在の住宅除雪支援員派遣事業では、対応が不十分である。除雪支援の拡充を。

**町長** 将来的なことを含め検証し、所管課の連携を取

り対応したい。

**質問** 高齢化率の上昇や人口減少が想定されるため、

地域で支え合える仕組みがより重要となる。地区の自治に対する交付金制度や有

償ボランティア制度の創設

など、行政のバックアップ体制がより必要と考えるが、

**町長** 十分意見を踏まえながら、関係者と協議し対応したい。



29年度予算審査特別委員会

### 消防設備における整備方針の明確化と設備の強化を

**消防課長** 防火水槽は113か所、消火栓は457本を設置。水利基準適合は、

防火水槽が80か所、消火栓が112本。

**町長** 消防水利施設は国から示された基準に達するよう、今後整備を進めたい。

**質問** 公有地と民有地での防火水槽の設置状況は。

**消防課長** 72%が民有地。地元で用地を準備してもらい、土地は無償貸与。

**質問** 土地の売却や地権者の代替わりなど、状態が変化すると問題が発生する可能性がある。設置の対応方針を明確にし、水利確保に

つとめるべきでは。

**町長** 従来の基本的な考え方を踏まえ、総合的に勘案しながら対応したい。

### 公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進を

**町長** 公共施設等総合管理計画を策定。現在、県から内容審査の結果待ち。

**質問** 公共施設の更新費用の推計は。

**総務課長** 今後40年間で712億円を推計。

**質問** 人口が減少していく中で、適正な施設保有量が重要と考えるが。

**副町長** 公共施設等総合管理計画では、公共施設の削減を15%程度見込んでいる。



たかだ よしひさ  
高田 佳久

- ※1 国立公園満喫プロジェクト…政府が取りまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づき、日本の国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」としてブランド化をはかるための様々な取り組み。
- ※2 産地パワーアップ事業…産地計画に基づく生産資材（果樹棚等）導入に対し、国が支援する助成事業（補助率50%以内）

議会改革に取り組んで、早10年。議員定数や報酬をはじめ協議してきましたが、これからも改革は続きます。

高田佳久のつぶやき

# 一時的にでも一方通行を

## 町長—地域・関係機関との合意形成が必要

**【質問】** 1月の豪雪で、湯田中温泉「かえで通り」と「平和観音通り」が交通マヒを起したが、一時的にでも一方通行にできなかったか。

**建設水道課長** 経過は、町道星川湯田中線の鈴虫坂を落雪のため通行止めにしたところ、夕方かえで通りと平和観音通りに交通が集中し渋滞が起きた。その後トラックが立ち往生し、通行できるのは平和観音通りのみとなった。一方通行の策もあつたが、警察をはじめ、地元関係者との協議に時間がかかるので、今回は見送った。

**【質問】** 中野警察署交通課の見解は、町道管理者である町の責任において規制をすることは可能である。その際、町から警察へ連絡した上で、誘導するガードマン

を配置すること。もちろんシーズン前に地元区長さんや関係者との十分な話し合いと合意が必要というところだがどうか。

**【町長】** 一方通行が可能かどうか、今後関係機関のご意見を聞いてみたい。

### 小型除雪機購入に補助を

**【質問】** 家庭用の小型除雪機はぜひたく品か。

**総務課長** 豪雪地域にとっては、ある意味では必需品と考える。

**【質問】** 安心安全な生活のため、除雪機の普及、活用の推奨と補助制度の創設を。

**総務課長** 県内では、5市で小型除雪機購入補助制度がある。そのすべてが区や公共的団体への補助であり、個人への補助はない。



小型除雪機「個人への購入補助を」

**【町長】** 農家に農機具の補助としても出しているのだから、今後研究する。

### ※1 3010(さんまるいちまる)運動の展開を

**【質問】** この運動をどう見るか。

**健康福祉課長** 食品ロス削減のため、松本市が発祥の地となり、環境省の推進で全国に広がりつつある。町もこの運動に賛同して、ごみ減量化と豊かな自然環境を守る取り組みをすすめる。

**【質問】** 個人への補助制度を調べたところ、山形県のある町では、5年間の時限立法で、当初10万円の補助があり、50人の申し込みがあつたが、予算オーバーのため途中から5万円に減額した。ある市では5万円の補助

を平成24年から実施。また移住定住世帯には10万円を補助。聞き取り調査によれば、当町の小型除雪機年間販売数は、約10〜20台と推測する。補助額は200〜300万円が見込まれるがどうか。



たかやま ゆういち  
高山 祐一

※1 3010 運動…宴会などで、最初の30分は、食べることに専念し、お開きの10分前からは、残さず食べる。ごみ減量化の運動のこと。

一般質問のコーナーが1人半ページから1ページになった、読む人によろこばれるように作らなくては。

高山祐一のつぶやき



# 18歳までの医療費 窓口無料化を

## 健康福祉課長―県の検討結果と町の財政負担を勘案し検討

**質問** 子ども医療費は一旦医療機関に支払い、後日助成金が還付される仕組み。窓口支払いの無料化は。

**健康福祉課長** 窓口無料化にすると国の国民健康保険への負担金が削減されるべし。ナルティがあるが、30年度から未就学児は削減しない方針。県の検討結果を踏まえ検討したい。

**質問** 未就学児だけを窓口無料化すると町の18歳以下医療費無料が手続きで煩雑化する。18歳までの窓口無料化を検討すべきでは。

**健康福祉課長** 県の検討結果として18歳まで窓口無料化した場合の町の財政負担増などを勘案し検討する。

### 多子世帯の 保育料軽減を

**質問** 年長児保育料が無料化されるが、少子化対策には多子世帯の保育助成が必要。同時入所の場合第3子保育料無料などの条件を撤廃し無料化するなど多子世帯の保育料軽減策を。

**町長** 一挙にはいかないができるだけ要望を検討していきたい。

### 住宅の耐震改修 補助費の増額を

**質問** 近年の耐震診断、改修の実績は。

**建設水道課長** 平成19年から住宅の耐震診断は131棟、改修は1棟。最近診断が減ってきた。

**質問** 耐震診断をしても改修が進まないのは、改修費に対して補助金が低すぎるからでは。

**建設水道課長** 29年度から個人住宅の改修補助を60万円から100万円に増額する。ホテル旅館も耐震改修の補助を300万円から改修費の10%を検討中。

### 命綱のつけ方の 広報は

**質問** 除雪作業で転落事故があり、防災無線で命綱をつけるよう広報しているが、消防団員でさえ話所の雪おろして命綱をつけなかった。

とを行っていききたい。

### 空き家活用 促進員設置は

**質問** 移住希望者が、町の空き家バンク登録数が少なく希望する家が見つからないと嘆いていた。これが移住定住の障害になって

まず団員に命綱を徹底し、次にイラスト付きの解説で町民に普及を。  
**危機管理室長** 関係課と協議し、必要があれば啓発な

**質問** 移住希望者が、町の空き家バンク登録数が少なく希望する家が見つからないと嘆いていた。これが移住定住の障害になって

いる。地域の事情に詳しい人に空き家活用促進員のような役を委嘱し、空き家バンク登録の増加促進を。  
**総務課長** 提案の件について研究したい。

### 町指定給水工事 業者の指定解除の方法は

**建設水道課長** 指定解除の申請が出されるまで有効。

**質問** 解除の自己申請をしなければ、指定時に必須の主任技術者が不在でも、営業実態がなくても町指定の看板は継続できる。町指定に有効期限の導入を。  
**建設水道課長** 指定業者の調査の必要性と制度に課題があることを認識した。



現在、子ども医療費は窓口で一旦支払う仕組み



もちづき さだあき  
望月 貞明

18歳までの子ども医療費無料化は山ノ内町の看板。18歳まで窓口無料化なら大英断だ。

望月貞明のつぶやき

# 借金を増やして財政を賄う形なのでは

## 町長—行政の借金と民間の借金は違う

### 人口減少下での町づくり

**【質問】** 国が補助金や交付金を減らそうとしている。町としても町税収入が減っていく中、どういう方向性で行政を進めていくのか。

**【町長】** まだまだ国の補助制度や起債制度の有利なものもある。引き続き使いながら、住民や国、県、広域的な協力をして対応していく。

**【質問】** 民間活力を活用していくべきと考えるが。

**【町長】** 地域の福祉計画など町でも進めている。つくって終わらないように、それをスタートとして対応したい。

**【質問】** 空き家問題が深刻化してきている。総務課の空き家バンクと連携をしているか。



ゆもとはるひこ  
**湯本 晴彦**

※1 コンパクトシティ…都市機能が高密度にまとまり、徒歩や公共交通での移動がしやすい都市形態のこと

きれいな庭も具体的な理想があるからつくれる。何もしなければ雑草が生えるだけ。

湯本晴彦のつぶやき

◆図表 4-20 人口減少を考慮した将来負担

人 口	既往実績		推計		倍率 B/A	
	平成 27 年	13,351 人	平成 42 年	11,319 人		
	単年平均		単年平均			
種 別	過去 5 年実績	1 人あたり A	今後 40 年	1 人あたり B		
投資的経費	公共建築物	1.80 億円	13,482 円	9.0 億円	79,512 円	5.9
	道 路	1.11 億円	8,314 円	3.0 億円	26,504 円	3.2
	橋 りょう	0.039 億円	292 円	0.8 億円	7,068 円	24.2
	上 水 道	0.59 億円	4,419 円	3.0 億円	26,504 円	6.0
下 水 道	0.081 億円	607 円	2.0 億円	17,669 円	29.1	
合 計	3.62 億円	27,114 円	17.8 億円	157,258 円	5.8	

注 1：平成 27 年人口は平成 27 年住民基本台帳(日本人のみ)  
注 2：平成 42 年人口は山ノ内町人口ビジョン(将来推定人口)  
注 3：数字の単位未満は、四捨五入のため総数と内容の計が一致しない場合があります。

施設の老朽化に伴う大規模改修費用の将来負担は推計で一人当たり 5.8 倍に  
「山ノ内町公共施設等総合管理計画」(平成 29 年 3 月)

### 町財政に関して

**【質問】** 町の借金が增える見込み。借金を増やして行くことだけでは希望が持てなくなるのでは。

**【総務課長】** 町債は増えることが予想されるが、有利な起債を進めていく。

**【質問】** 浄水場の更新、民生費や福祉の負担増などを借金でなんとか賄おうとしているように思えるが。

**【総務課長】** 必要経費はどうしてもかかる。中長期的に考えて進める。

**【質問】** 国土交通省が推進している立地適正化計画というのがある。これはコンパクトシティをつくるため居住誘導や立地をコントロールしようとする計画。今後地区の集約化を前提に住民と対話していくべき。

**【質問】** 新たな財源の確保は考えていないか。  
**【総務課長】** いろいろな補助制度を活用したい。

**【質問】** 第 6 次山ノ内町行政改革大綱でも、量の改革から質の改革へのソフトチェンジと言ったが、財政面においてはどうだろうか。  
**【総務課長】** 今月中に町長へ答申される予定。

**【町長】** 借金の額は膨らんでも、交付税で国から補填される。借金が増えたからダメではなく、国で面倒見てもらえるのが実際。

**【質問】** 今までと同じ状況下なら問題ないが、将来のことを考えるから不安な声が上がっている。かけられる費用が限られるから、かけた以上にする量が量から質への改革だと思う。

# 町道湯田中夜間瀬線の歩道整備を

## 町長―必要性と地権者の同意を進めていく

**質問** 町道湯田中夜間瀬線の歩道設置は、未整備であるとの共通認識でよいか。

**建設水道課長** 町道湯田中夜間瀬線歩道設置協議会が解散するまで、中学校までの歩道延伸事業は継続中と認識している。

**質問** 小中学生の徒歩での通学距離の範囲はどのくらいなのか。

**教育長** 中学生はおよそ8キロ、小学生高学年は4キロ、低学年は一応3キロと考えている。

**質問** 中学校から西小学校までは、およそ2キロであるが、中学校敷地内に小学校が1校統合となったら、西部地区の子供たちは徒歩

通学になるのか。

**教育長** 34年度、小学校を1校統合して中学校敷地内に総合教育会議で一定の方針を置き、検討することになっているが、西部地区も広いので、いちがいに徒歩通学とは言えない。精査しなければならない問題であると思う。

**質問** この町道で歩道の未整備区間はおよそ800メートルである。それを一気に全区間を整備することはなかなか難しいと思うので、

まず、中学校から西へ約200メートルの交差点を第一優先として取り組むことを提案するがいかがか。

**建設水道課長** 概略設計費

を29年度予算に計上しているが、協議会との調整で沿線地権者の同意をいただきたいところを概略設計に入り、



ここの歩道整備は第一優先で取り組むべきと提案する

実施計画にあげていければと考えている。

**町長** 地権者の皆さんの同意をいただければ、実施計画、予算措置をすることになろうと思う。

### 地域公共交通施策について

**質問** 地域公共交通の再構築に取り組み体制として、29年度に実証運行を計画しているが、以前に行ったデマンド交通の経験を十分に検証して、利用しやすいように運行ルート、利用料金や福祉乗物券との調整など地域や利用するであろう人たちの声も聞きながら持続可能な地域公共交通になるよう進めるべきと考えるが。

**総務課長** 実証運行については、その中でアンケートなども行っていくが、できるだけ大勢の方からご意見をいただく中でより良い方法を検討したい。

### 観光振興施策について

**質問** 観光交流ビジョンにある「おもてなしのまちづくり」は、何をどう取り組み、推進していくのか。

**町長** 観光業者、観光従事者の接客のあり方を充実させることや町民全てがおもてなしの心でお客様をお迎えすること、訪れる人にやさしい施設整備などを目指して取り組んでいきたい。



にし そうすけ  
西 宗亮

大先輩T・S氏の叱咤激励格言「難しいから面白い、大変だから楽しい」。でもやっぱり難しく大変だ。

西 宗亮のつぶやき

# 小学校の今後のあり方は

町長—財政状況や既存施設活用法など課題は山積

**【質問】** 小学校のあり方と今後のスケジュールは。

**【町長】** 財政状況や既存の学校施設の活用方法など、さまざまな課題が山積している。公共施設整備等検討会議や総合教育会議で時期など具体的に検討していきたい。

**【教育長】** 基礎調査結果を十分検討し、教育委員会、総合教育会議で協議。審議会や町民、保護者の意見を聞きながら、計画、スケジュール、素案を組み立てていきたい。

**【質問】** 中学校敷地内というところで基礎調査されたが、まだ方向性は出ていないということか。

**【教育長】** その通り。

**【質問】** 審議会メンバー、諮問内容、立ち上げ時期は。

**【教育長】** 適正規模・適正配置等審議会と同等メンバーで考えている。時期、諮問内容はまだ詰めていない。

**【質問】** 前回のようない紙諮問でなく、たたき台を示した上で諮問すべきだ。

**【教育長】** 今後検討していく。

**【質問】** 中学校の長寿命化改修に29年度からの3年間で11億円以上かける予定だが、一緒にやれるなら二重投資にならない方法があるのではないか。

**【教育長】** 校舎一体型の小中一貫校という形になれば可能。

**【質問】** 年長児保育料無料は認定外保育所や幼稚園にも適用されるか

**【健康福祉課長】** 幼稚園については、町の決定により利用されていることから適用

**【質問】** 認定外保育所については内容など調査した上で決定していきたい。

**【質問】** 町に住む子どもなら平等・公平に扱うべき。

**【町長】** テレビで観て、町内でもおもしろい保育をやるのだな、程度の認識しかない。



わたなべ まさお  
**渡辺 正男**

※1 基礎調査…中学校敷地内に統合小学校を建設した場合の設計と費用試算を業者に委託した調査のこと。28年10月に終了しているが詳細については現在非公開。

4月はなにかと気忙しい。志賀のスキー大会が3回と宇木古代桜まつりに千歳桜観桜会、それと畑仕事も。

渡辺正男のつぶやき



今後3年間で約11億円をかけて長寿命化改修が行われる中学校普通教室棟と管理棟

いが、実態を把握した上で考えていきたい。

**【質問】** 放課後児童クラブの充実はどう取り組むか

**【質問】** 放課後児童クラブは、

子どもたちの大事な居場所になっている。子育て支援事業計画では「子どもの居場所づくり、学習や遊びなど活動しやすい環境を整備します」とある。児童クラブでの学習支援・指導を希望する声があるが。

**【健康福祉課長】** 現状では対応は難しいが、教育委員会と話し合う必要があると思っている。

**【教育長】** 町で実施している厚労省管轄の「放課後児童クラブ」とは別に文科省管轄で「放課後子供教室」がある。そちらでは学習指導が含まれている。

**【質問】** 縦割りの管轄違いでなく、横断的にニーズや実態を調査し、研究していただきたい。

# 子育て支援充実のためにも保育職員の確保を

## 町長―子育て支援や保護者の負担軽減につとめる

**休日保育の利用者に十分な対応を**

**質問** 年々休日保育利用者が増加、職員不足のため、今年度申し込みを断った事はあるか。

**健康福祉課長** 年末年始に数名お断りした。

**質問** 休日保育専門臨時職員が不足の場合、正規職員による対応はできないか。

**健康福祉課長** 年度末は平日なので調整は可能だが、年末年始は難しい。

**質問** 正規職員は休日保育に関わらないのか。

**健康福祉課長** 休日保育担当である臨時職員、シルバ一派遣で対応している。

**ニーズに合ったコミュニティバスの実証運行を**

**質問** 要望の高いバス停の設置、運行時間の編成、鉄道とバスの接続時刻の調査をすべきでは。

**質問** 要望の高いバス停の設置、運行時間の編成、鉄道とバスの接続時刻の調査をすべきでは。

**総務課長** バス路線の空白地域解消、既存のバス停、夜間瀬駅への乗り継ぎが基準。ダイヤなどは実証運行中検討する。

**質問** 夜間瀬駅乗り継ぎは周辺の安全面、狭い場所など不安である。ミニステーションが必要と考えるが。

**総務課長** 安全な乗降ができる様、検討する。

**質問** 特に乗車率の低い須

賀川地域は予約制が良い。今までと変わらない運行方法では不安が残るが。

**総務課長** 巡回バスということ考えていきたい。

**質問** 北信病院への直行便を考えて頂きたい。

**副町長** 夜間瀬駅で電車へ、上林線バスに乗り継ぎ、病院などへ行く方法を考えて

院などへ行く方法を考えて



コミュニティバスの運行ルート

**町長** 利用者ニーズを大切に、電車・上林線バスの公共交通の利用促進と合わせ対応する。

### 反問

**総務課長** 実証運行の方向性につかりしたとの発言だが、具体的内容は。

**徳竹栄子** 夜間瀬駅で乗り継ぎのため、中野へ直行しないこと。既存のバス停が基本だから要望の多いバス停が設置できないこと。

### 北小空き施設活用は町と地域の連携を

**質問** 北小空き施設利用検討協議会は提案の実現に不安と疑問を持っている。

**町長** 地元のを望を聞き、地域やレクリエーションの拠点などの施設利用に配慮したい。協議会は、地域と町のパイプ役と考えている。

**質問** 公共施設検討委員会の公民館・児童クラブ・診療所の移転案は。

**町長** 集約的にするのは、メンテナンス面からの提案である。地域と町が合体しながら対応する。

**質問** 実施計画では、改修費を31年度までに4000万円を見込んでいるが、計画以上に費用がかかった場合の対応は。

**総務課長** 29年度に設計に入りたいと考えているが、金額が変われば議会に提案していく。



とくたけ えいこ 徳竹 栄子

10月から実証運行するコミュニティバスは夜間瀬駅で下車、電車か上林線のバスに乗り継ぎ中野へ。不便だなあ。

徳竹栄子のつぶやき

# 1月豪雪時の除雪対応は十分だったか

町長一精一杯対応してもらった ご理解を

## 除雪対応の評価は

**町長** 今年の豪雪は1月の

除雪費が26年2月豪雪時を  
超える想定外の豪雪だった。  
除雪が追い付かなかった状  
況も十分承知しているが、

除雪業者、担当職員にも精  
一杯対応してもらったのは  
ご理解いただきたい。

**建設水道課長** 今回の豪雪

については降り続く新雪の  
除雪を最優先したが、雪置  
き場がどこも早く満杯とな  
り、拡幅作業に入れなかつ  
たことが一部路線で交通障  
害発生の原因と考える。

## 事故及び苦情を 把握しているか

**建設水道課長** 町道事故は

専決3号で報告した道路上  
の枝からの落雪による1件、  
圧雪した道路の段差による  
事故2件、道路側溝への脱

輪事故1件の計4件。想定  
外の降雪とはいえ電話によ  
る苦情は多かった。

## 事故については、 町道管理者に責任 の無い形のものか

**建設水道課長** 3件の事故

については保険会社に事故  
報告、責任割合を算出して  
いただき本人との示談交渉  
中。町道管理者の責任は、  
おおむね3割と保険会社か  
ら示されている。

**質問** 専決の個人所有の木

からの落雪については明確  
な基準がないようだが、温  
泉街にはずいぶん木が出て  
いる。落ちそうな雪も、折  
れた枝もあったが、たまた  
ま事故は無かった。今回の  
補償が先例とならないか。

**建設水道課長** 指摘の屋根

から、また道路に面した庭  
木から雪が落ちるたびに、



やまもと りょういち  
山本 良一



1月豪雪時、排雪が間に合わず積み  
上げた雪は軒まで60cmに達した。

## 豪雪時、児童生徒 の安全確保はされ ているか

**質問** 通学路の状況把握は、

**教育長** 各学校においては

10対0で町道管理者が悪い  
というのでは前例として良  
くない。今回は非常に特殊  
な事例と考えている。

学校長の判断で職員が巡回  
し確認する。また職員同行  
で集団下校などしている。

**質問** 小学校の登校は何時

に終わるか。

**教育長** 大体8時に終わる。

**質問** この時間帯を走る車

は何のためと考えるか。

**教育長** 子供たちの送迎に

使う車、あるいは旅館など  
の送迎とか想像する。

**質問** 8時前に帰るお客様

は基本的にはないのであの雪  
の中歩く子供たちの中を走  
る車は自分のお子様を学校  
へ送る保護者の車。送って  
帰るから渋滞する。これを  
どう思うか。

**教育長** 以前指摘もあり校

長からできるだけ子供たち  
には歩いて来るよう、また  
保護者には病気とかで送迎  
がいたし方ない場合につい  
ては注意して通行してもら  
うよう学校には伝えてある。

**質問** 送迎される方は雪が

降ればさらに増える。送迎  
される保護者に豪雪の時ぐ  
らい楓の湯あたりで子供を  
降ろすよう指導すべき。

**教育長** 学校を通じて状況

を説明、保護者に伝えたい。



It is too late to  
regret after school  
has gone.  
(>\_<)

山本良一のつぶやき

## みなさんからの 請願・陳情

## 陳情採択結果

受理番号	件名	陳情者	採決結果
陳情第1号	最低制限価格の設定に関する陳情書	一般社団法人 長野県建築士事務所協会 会長 小河 節郎  一般社団法人 長野県建築士事務所協会中高支部 支部長 鈴木 文夫	賛成 2人 (不採択)
陳情第2号	「テロ等準備罪」、いわゆる「共謀罪」を新設する組織犯罪処罰法改正案に反対する陳情	北信地区憲法をまもる会 会長 涌井 純生	賛成 8人 (採択)
陳情第3号	オスプレイの低空飛行訓練の中止を求める陳情	北信地区憲法をまもる会 会長 涌井 純生	賛成 4人 (不採択)

## 「テロ等準備罪」、いわゆる「共謀罪」を新設する組織犯罪処罰法改正案に反対する陳情書採択に対する反対討論

望月 貞明

日本には組織犯罪を計画・準備段階で処罰できる法律がなく、国連の国際組織犯罪防止条約が批准できない。「テロ等準備罪」は適応対象を暴力団などの「組織的犯罪集団」に限定し、犯罪の成立要件を合意・計画に物品調達などの

準備行為を加え、過去3回廃案になった「共謀罪」より遥かに厳格化し、市民団体などが捜査対象となる懸念は払拭された。陳情はテロ防止の対案がなく現実性を欠く。

## オスプレイの低空飛行訓練の中止を求める陳情書不採択に対する反対討論

渡辺 正男

平成24年9月議会で同様の陳情を全会一致で採択し、関係機関に意見書を送付している。陳情者も同じ団体だ。議会としての機関意思決定の一貫性を尊重すべき。オスプレイの目撃情報は5日間で約380件も県に寄せられ、不安

と怒りの声が上がっている。当町からも肉眼で確認できた。北信広域連合の他議会すべてで陳情を採択している。オスプレイの横暴勝手な低空飛行訓練は許せない。

## 議会全員協議会

### 第21回（平成28年12月21日）

- (1) 議会からの提出案件
- ① 活性化のための提言・要望について
  - ② 議会報告会について
  - ③ 先例集の見直しについて

### 第1回（平成29年1月16日）

- (1) 議会からの提出案件
- ① 議会報告会について
  - ② 活性化のための提言・要望について

### 第2回（1月23日）

- (1) 議会からの提出案件
- ① 報告会におけるパワーポイントの取り扱いについて

### 第3回（2月20日）

- (1) 執行機関からの提出案件
- ① 大雪による被害及び対応等について
- (2) 議会からの提出案件

- ① 予算審査特別委員会について
- ② 審議会等への選出について
- ③ 飯綱町議会視察報告について
- ④ 第26回ゲーゴルフゲーム交流大会について

### 第4回（2月24日）

- (1) 議会からの提出案件

- ① 議会活動に関する町民アンケートについて
- ② 議会報告会について
- ③ 活性化のための提言・要望について

### 第5回（3月1日）

- (1) 執行機関からの提出案件
- ① 改正農業委員会法について
  - ② 第6次行政改革大綱（案）について
  - ③ 町交通体系再編の方向性について
  - ④ 業務継続計画について

### 第6回（3月7日）

- (1) 執行機関からの提出案件
- ① 財務書類について
  - ② 第2次北信地域定住自立圏共生ビジョンについて
  - ③ 公共施設等総合管理計画（案）について

### 第7回（3月21日）

- (1) 執行機関からの提出案件
- ① 平成29年度税制改革について
  - ② 消防団員等公務災害補償制度改正について
  - ③ 公共下水道事業及び農業集落排水事業にかかる経営戦略策定の報告について
  - ④ 除雪費の見込みについて
  - ⑤ オリンピック20周年記念イベント（案）について
  - ⑥ 係の再編について

## 議会の活性化

### 議長に答申

「開かれた議会」「住民が主人公の議会」の観点から平成27年7月17日に議長より議会活性化のための諮問を受けました。

以来、議論を重ね、2回の中間答申を経て、3月30日、高田佳久議会運営委員長より小淵茂昭議長の諮問に対するの答申をしました。



答申書を受けとる小淵議長

## 1 諮問事項に対する調査経過

27年7月第1回議連（活性化）を行い、また追加として特別委員会のあり方について、25回の会議と26回の全員協議会において、議論を展開してきました。

## 2 諮問事項

- (1) 活性化研究会のあり方について
- (2) 議員報酬について
- (3) クリーン選挙について
- (4) 議会報告会のあり方について
- (5) 子ども議会について
- (6) 先例集の見直しについて
- (7) その他議会活性化事項について
- (8) 特別委員会のあり方について

## 2 継続検討を要する事項（抜粋）

- 通年議会の開催
- 夜間議会の開催
- ICTの積極活用
- 事務局体制の強化
- 議会のインターネット中継
- 住民意見の反映・政策立案
- 議会モニターの導入
- 審議会等への選出廃止



「地方の活力なくして日本の活力なし」 by 安倍総理

29年度  
予算可決

# 町民に活力を与える予算執行を 新規事業に年長児保育料無料化など

## 11年ぶりに70億を超える

### 一般会計予算

#### 予算審査特別委員会報告

予算審査は3月7日予算審査特別委員会（全議員で構成、委員長 布施谷裕泉、副委員長 山本光俊）に付託。8日から4日間、審査を行いました。しかし21日、町側から一般会計予算案撤回の申し出があり、議会はこれを許可。同日再提出された一般会計予算案を追加議案として上程したのち特別委員会に付託・再審査を行い、本会議で委員長より審査結果の報告後、反対・賛成の討論を経て採決を行いました。一般会計予算は賛成多数で、他の6特別会計予算と水道事業会計予算は全会一致で可決しました。

#### 部会意見

##### 一般会計

##### 《共通》

○北小学校施設のあと利用は、具体的な計画を策定すること。

##### 《総務費》

○移住定住促進策は、移住者のニーズにあったメニューを提供し、フオローアップにつとめること。

##### 《民生費》

○障害者福祉計画は、障がい者にやさしい町づくりを具現化できるよう策定

すること。

○放課後児童クラブと放課後子供教室を一体的運営に向けて取り組むこと。

○除雪支援員体制を拡充すること。

##### 《衛生費》

○ごみ分別指導の周知徹底をはかること。

##### 《商工費》

○ユネスコエコパークの周知をはかり、産業振興に資する仕組みを構築すること。

○遊歩道・登山道整備は、付帯設備を設置し利用者の利便性向上につとめること。

○案内看板は、移動手段に

とに対応できるものにする。

##### 《農林水産業費》

○新規就農希望者に対する受け入れ体制を充実すること。

##### 《土木費》

○河川の景観形成は、防災・観光の面からもさらに県などと連携をはかり、推進すること。

○町道の安全性確保と、維持管理に万全を期すこと。

##### 《消防費》

○地域防災力向上のため、自主防災組織の強化をさらにすすめること。

#### 一般会計予算

##### 反対討論

渡辺 正男

年長児保育料無料化、小中学校卒業祝い金は評価する。祝いの卒業式で町長から児童・生徒代表に目録を贈呈という形には問題がある。町立学校に通う子だけではない。中学校長寿命化改修には今後3年間で約11億円支出予定だが、工事終了後に解体するプレハブ校舎に2年間で3億円というのは問題。34年度中学校敷地内に統合小学校建設の計画と関連しない単独改修工事には疑問が残る。

##### 賛成討論

高山 祐一

観光案内アプリ事業は信州DCによりさらなる利便性をはかる。小学校児童クラブの拡充、年長児保育料無料化など保護者の負担軽減につとめた。小中学校卒業祝い金は、保護者に寄り添った施策である。新交通システム構築のため、コミュニティバス実証運行は新たな取り組みがみられる。防災無線デジタル化は、難聴地域解消と有線電話に変わる利便性を期待する。

##### 賛成討論

山本 光俊

政策的経費に充てる財源が限られ、また各種税収で厳しい現状ではあるが、町の基幹産業である農業と観光に積極的に取り組む姿勢が見て取れる。

#### 特別会計等

##### 《水道事業会計》

○東部浄水場更新計画の策定は万全を期すこと。

国・県の政策や方針を町行政がしっかりと把握し、迅速に対応しながら財源確保を積極的に行ったことにほかならず、評価に値する。基幹産業の活性をはかることで、多くの事業に相乗効果が見られるよう期待する。

総括意見

予算審査特別委員会 委員長 布施谷 裕泉

「地方の活力なくして日本の活力なし。地方の未来を切り拓いていくことなくして、日本の未来はない」これは昨年11月に開催された「第60回町村議会議長全国大会」における安倍総理あいさつの一節である。

地方に活力をつけることは、まさに今求められている喫緊の課題であり、実現上大きな壁となっているのが「東京一極集中」、その是正を問われ続けているが遅々として進まない。多くの地方は産業の空洞化、少子高齢化、若者人口の流出など非常に厳しい状況にある。国の掲げる地方創生の取り組みについて「進んでいない」「どちらかといえば進んでいない」と思う人は合わせて77%に上ることが全国面接世論調査で示されてもいる。政府の施策が不十分だと感じている状況がうかがえるが、政府は大型の財政出動によって一億総活躍社会の実現やデフレ脱却を目指すとして、29

年度予算を過去最大規模の97兆4500億円とした。大型予算で期待される向きもあるが、金融政策の手詰まり感や財政健全化においては危惧されるところでもある。

当町においても若者の町外流出や出生率の回復に兆しが見えないこと、また基幹産業とする観光と農業においても観光客の減少や、後継者不足など大変厳しい状況にある。

このような状況下で編成された29年度一般会計予算の総額は、71億3600万円の前年度に比べ4億5900万円（69%）の増と11年ぶりに70億を超えた。これは施設の老朽化に伴う改修費用などが主な要因となっている。

金は昨年度同額の1億6000万円を見込む。返礼率はおおむね3割と、ふるさと納税の趣旨に則した運営は評価できる。

町債は3億5870万円（前年度比40・6%）増の12億4140万円、平成8年度以来、21年ぶりに10億円を超える発行額を見込んでいる。

〈歳入〉構成比22・6%を占める町税16億625万円は、前年度に比べて89330万円（53%）の減を見込む。

寄附金では前年度比500万円減の2億1711万円としているが、ふるさと寄附

金は昨年度同額の1億6000万円を見込む。返礼率はおおむね3割と、ふるさと納税の趣旨に則した運営は評価できる。

町債は3億5870万円（前年度比40・6%）増の12億4140万円、平成8年度以来、21年ぶりに10億円を超える発行額を見込んでいる。

〈歳出〉民生費で前年度比18220万円増の12億9970万円を計上。児童福祉費では負担軽減策として「年長児の保育料無料化」などが新規施策として盛り込まれたが、保護者の負担軽減に資するだけでなく、子育て支援の町としての発信にも期待したい。

今、国内外では差別や排除を正当化する動き、また分断や格差などジワリと広がりを見せている。これら

は平和宣言、また多様性を尊重する人権の町である当町にはそぐわない。町づくりの基本理念「住む人、訪れる人に温もりのある郷土」これはまさに金看板としての当町の誇りである。温もりを、より多くの方に感じていただきたい。そんな町づくりに向けた本予算について、一層効果が上がる執行を期待する。



統合後初の西小学校入学式

国民健康保険特別会計予算

賛成討論

渡辺 正男

増え続ける基金に比べ、保険税は28年度値上げにより1世帯当たりで県下7位の高さに対して、1人当たり医療費は県下64位とアンバランス。30年度からの県一本化に向け、新たな保険税算定では、基金を活用して町独自の保険税負担軽減に充てていただきたい。保険給付費の動きをしっかりと見極め、医療費と保険税のバランスがとれるように万全の対応を要望して賛成討論とする。

介護保険特別会計予算

賛成討論

渡辺 正男

保険給付費は14億8400万円と対前年度比5600万円の減。第6期計画では、17億7501万円を見込んだので、対計画比では2億9100万円もの減で大きなずれがある。基金残高については、今回補正で28年度末1億6081万円になる予想。第7期計画では、基金を活用した保険料の減額に本気で取り組むべき。一般会計の介護保険低所得者対策助成金の存続は評価する。

# 議会での取り組みを

## 第10回議会報告会

### 各地区の実情に沿ったテーマで質疑

第10回議会報告会は、1月22日（土）の北部公民館を皮切りに、2月4日（土）のよませふれあいセンターまで町内5会場で開催しました。参加者は第1回以来200人を超えるなど、多くの皆様に足を運んでいただき多くのご意見ご提言を頂くことができました。ご協力頂いた各地区の関係各位ならびに参加者の皆様に厚く御礼申し上げます。

### 各会場での主な質疑・意見

#### 1月22日 北部公民館

**質問** 有線放送電話は廃止と聞いているが、危機管理上の対応は。また先の停電時、役場に状況を問い合わせた。役場にも分からなかった。町は停電の情報を把握する手段を持っているか。

**回答** 防災無線デジタル化事業では戸別に無線機を配置して情報を知らせる計画で、伝達する情報は災害時

の危機管理情報の他に、何を伝えるか現在検討中。町は停電時、情報把握の体制は特に持っていない。

#### 1月24日 和合会館

**質問** 景観モデル事業として石畳の補修をお願いしたい。

**回答** 景観観光モデル事業は、国土交通省へ要望を提出中なので、選定してもらえよう働きかけていきます。



#### 1月28日 ほなみふれあいセンター

**質問** 計画では外国人観光客にわかりやすい案内看板・トイレ施設等の整備と渋温泉街の路面改修と蓮池地区の路面改修を予定している。

**回答** 今後、高齢者が増加するので、高齢者が集う拠点や運動施設として、学校施設や体育館、または空き家を利用する考えは。

#### 1月31日 文化センター

**回答** 現在、高齢者が集う新たな専用施設を作る計画はないが運動する施設は、河川敷でのマレットや屋内ゲートボール場がある。また各地区の公民館や集会場などを活用して民生委員が主催するお茶飲み会もある。

**質問** 学校問題など重要な事案では委員会ごとの視察だけでなく、全議員で対応しては。場合によっては区長、保護者と一緒に視察を行ってもらいたい。

**回答** 教育などを所管する委員会が対応し、視察報告もある。議員間での共有はできている。また公務として対応している。

#### 2月4日 よませふれあいセンター

**質問** 1人当たりの医療費が県下64位というのは、医療費が高いのか安いのか。

**回答** 当町では医療費は低いが保険料は高くなっている。

施策内容	会場	北部	東部上	南部	東部下	西部	計
	参加者数	23人	40人	38人	38人	63人	202人
① 観光商工振興策		0	20	3	8	8	39枚
② 農林水産業振興策		1	2	4	4	20	31枚
③ 子育て・教育振興策		3	7	6	9	15	40枚
④ 高齢者・障がい者健康福祉施策		7	8	11	14	7	47枚
⑤ 都市基盤・生活環境の整備 (下水道、道路側溝など)		9	2	7	3	9	30枚
⑥ 行財政運営・行政サービスの向上 (税・窓口など)		3	1	3	0	4	11枚

今回は、あらかじめメインテーマを設定せず、各会場の参加者にお決め頂きました6項目の中から関心のある施策にシールを貼っていただき、多い順にテーマとしました。(表の数字はシール数で参加者数と合わない会場もあります)

# 温泉街に新しい風

石坂大輔さん

渋温泉で起業した石坂大輔さんへインタビュー

なぜ渋温泉で起業？

「そもそもなぜ旅館をやろうと思ったのですか。」

石坂 もともと旅行が好きで、学生時代に海外を旅行した時に、宿泊施設って、設備の豪華さと満足度は比例しないことに気づきました。施設がポロポロでももう一度行きたい宿はあるんです。滞在の満足度はその中で働く人のホスピタリティで変わるんです。それが宿の面白さだと思います。それ以来、日本文化が凝縮している旅館をいずれやりたいと思っていました。

「では、なぜ山ノ内町に？」

石坂 証券会社を経て、星野リゾートで旅館の勉強をさせてもらい物件を探していたら、たまたま売



町のGDPを増やしたいと意気込む石坂さん

石坂 良く言われます(笑)。で

「温泉なしで良くやられていますね。」  
 石坂 宿に温泉がないことでした(笑)。温泉の権利はついていなかったのです。でもインバウンドのお客様は浴衣を着て下駄をはいて温泉街を歩けば、結構満足してくれるんです。  
 「温泉なしで良くやられていますね。」

ハンディを克服

「実際、営業をしてみても、想定外だったことは？」

石坂 宿に温泉がないことでした(笑)。温泉の権利はついていなかったのです。でもインバウンドのお客様は浴衣を着て下駄をはいて温泉街を歩けば、結構満足してくれるんです。  
 「温泉なしで良くやられていますね。」



食事だけでも立ち寄れる宿

「ほかの旅館さんはいい温泉を持っていらっしゃるので、そのお風呂を使わせてもらうことで温泉に入りたいお客様の需要も満たせています。その代わり、他の旅館さんで、英語が分からないなど困っている時は、私達が通訳をしてあげるなど、持ちつ持たれつでお互いの強みを生かすことでいい関係になつていきます。」

渋温泉の灯を消したくない

「これからやりたいことはありますか？」

石坂 渋でも後継ぎがないお宿さんがあると聞きます。今後旅館の灯が消えてほしくないのです。うちがサポートできることはやることだと思います。インバウンドを取り込むお手伝いや予約管理のサポートなど、そういう面倒なところをやることで、他の旅館さんが助かると思っています。後継者がいても戻

らないのは、嫌いなわけではなく生活できる形ではないからだと思います。365日24時間営業のスタイルはやはりこのご時世敬遠されてしまいます。そうであれば私たちが苦手な分野を引き受けたら、効率的な運営のお手伝いをすることで、戻ってくる人も増えるのかなと思います。また戻ってくるまで、我々が中継ぎとして運営することもできると思います。

大人のインターンシップ

「もう一つ移住者として考えることはありますか？」

石坂 長野県は移住したい県の一つなのに、来て結局戻ってしまふことが多いと聞きます。「思っていたのと違う」と理想と現実のギャップを感じるからだと思います。そのミスマッチをなくすために、移住希望者向けのインターンシップというのを考えています。例えば1週間旅館で働いたり、ここで任んだり、地元の会議などにも出るなど、一週間疑似市民として受け入れるのをやってみたいと思つたのです。そうすれば、疑似的にここの暮らしを体験できるし、その方がスムーズに移住に移行できるんじゃないかなと思います。

インタビューを通じて

誰かがやってほしいという言葉の方ではなく、自分でやっていきたいと、あくまでも一人称で語られている姿が印象的でした。

編集後記

この冬はひどく雪が深かった。上林グラウンドは4月15日からの利用開始となった。春が来て京都への憧れを手に入れた。が、時代の移ろいを痛感してしまった。まず表紙の次は「土産物ガイド」。はがせば別冊として携帯可能だ。次いで京遊びのスポット紹介。着物さんぽや和菓子作りを勧める。それから京グルメ。朝食、京和食ランチ、町屋ごはん、京スイーツ。これ以上はもう挙げぬ。かつての修学旅行の折は観光すべき場所から決定して参加した。「京都大原三千年」と歌に名高い大原では真っ先に寂光院を訪ねばならぬと誓っていた。このガイドブックには寂光院のページも記述もない。まさかと思つて巻末の索引も当たったがやはりない。  
 仲見世はあとの楽しみ初詣(今井つる女)  
 先ず参拝、お楽しみは後にすべきではなからうか。  
 (小林民夫 記)